

「男女共同参画」に関する市政モニター調査結果報告書

I 調査の概要

1. 目的

この調査は第3次高島市男女共同参画プランの策定にあたり、令和9年度から10年間の方向性を定めるため、施策の現状を調査するとともに、今後の施策方針の参考とさせていただくことを目的としています。

2. 対象

市政モニター登録者 771人

3. 期間

令和8年5月13日（水）～令和8年5月29日（金）

4. 方法

郵送による調査票の配付・回収およびWEBによる回答

5. 回収状況

回収数：520人（郵送：192人、WEB：328人）

回収率：67.4%

6. 担当課

市民生活部 人権施策課

7. 結果の表示方法

・各設問の結果は設問の回答者数（有効回答数）を基数とした百分率（%）で示しています。また、百分率は小数点以下第1位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

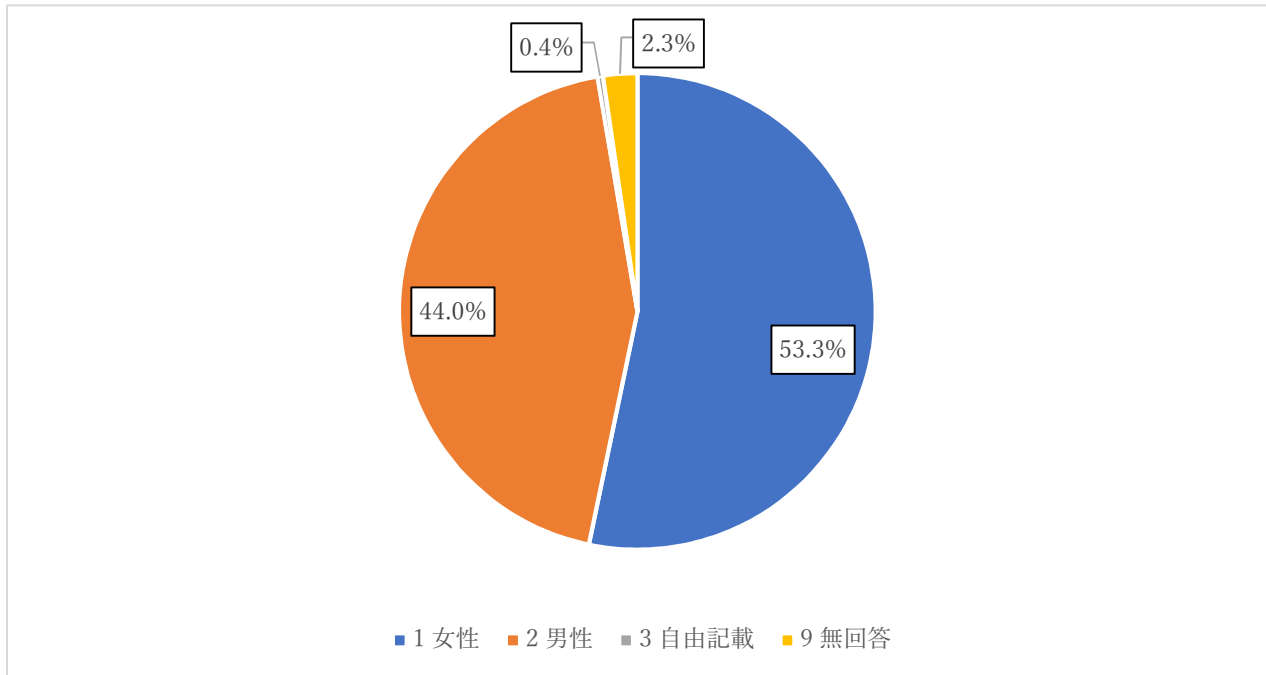
・複数回答が可能な設問の場合は、回答者全体に対する回答割合を示しているため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

・各項目の内訳人数および自由記述については、市ホームページで完全版として、すべて記載されたものを掲載しています。

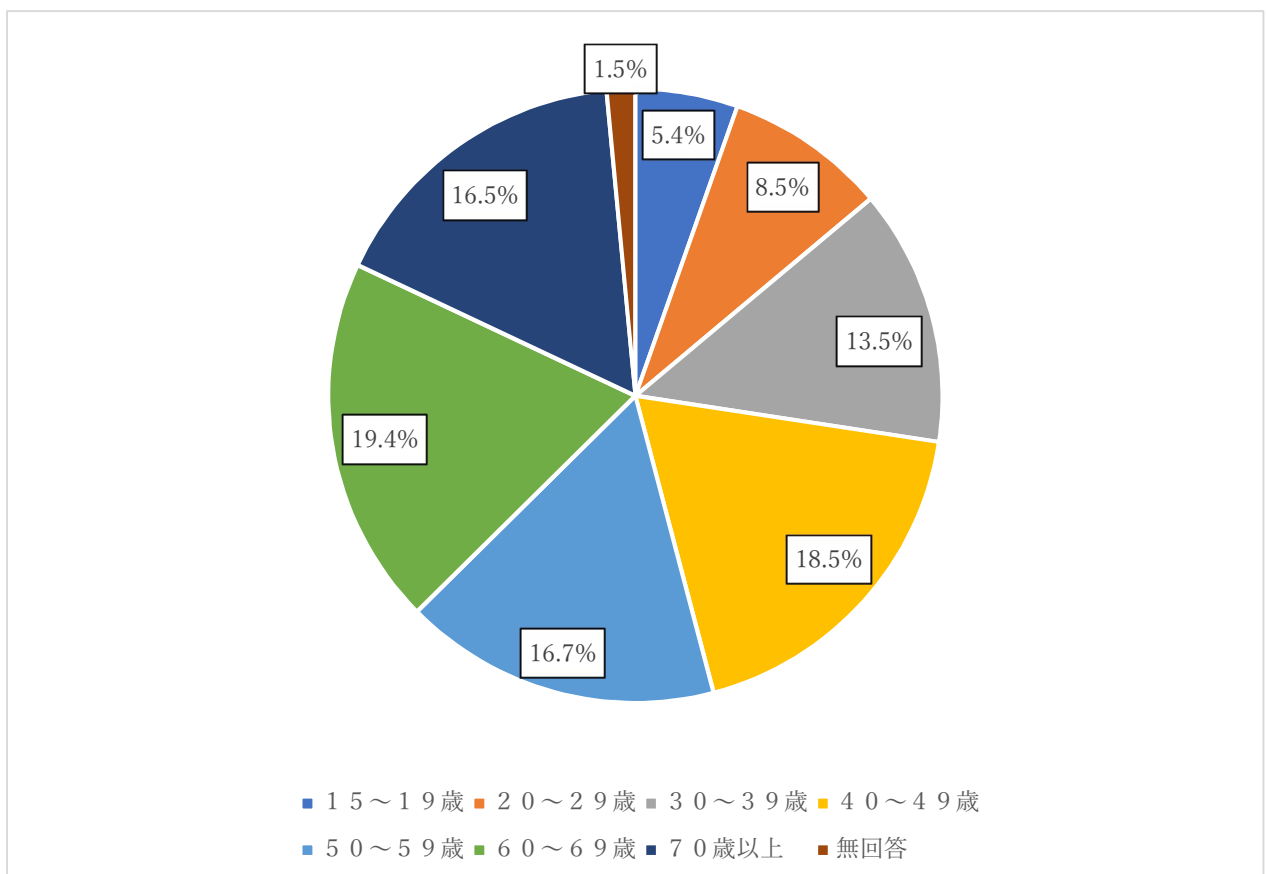
あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

「女性」が53.3%、「男性」が44.0%でした。

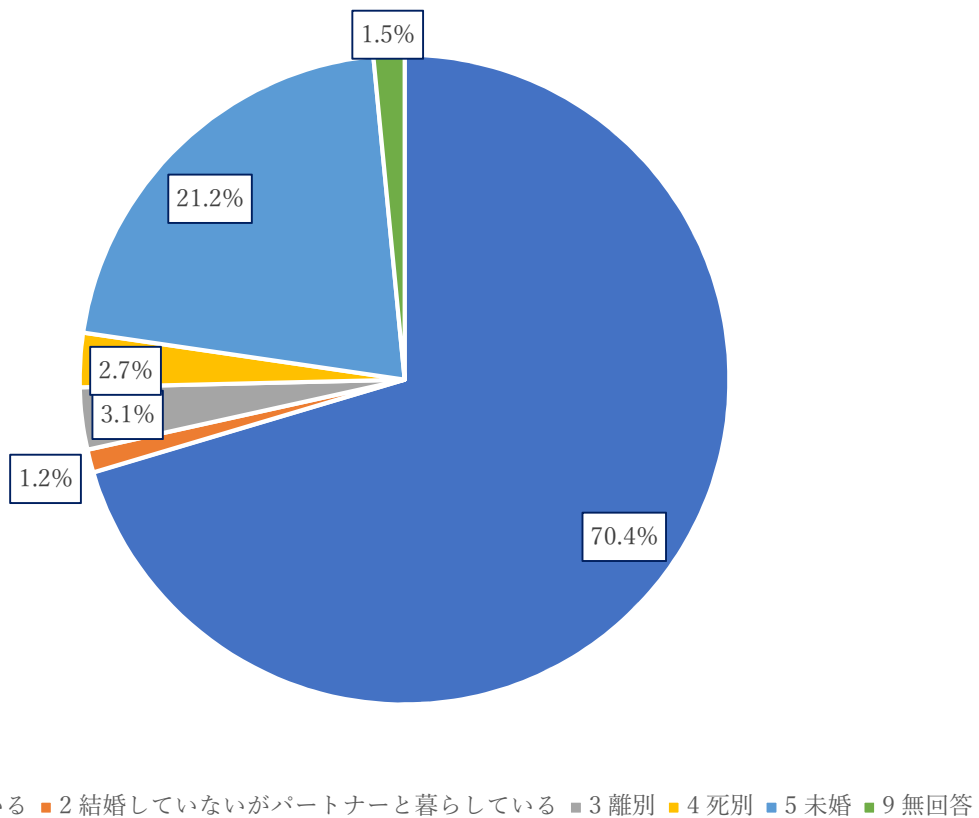


問2 あなたの年齢はおいくつですか。(〇は1つだけ) (令和8年1月1日現在の満年齢)
「60～69歳」が19.4%、「40～49歳」が18.5%でした。全体の半数が50歳以上です。



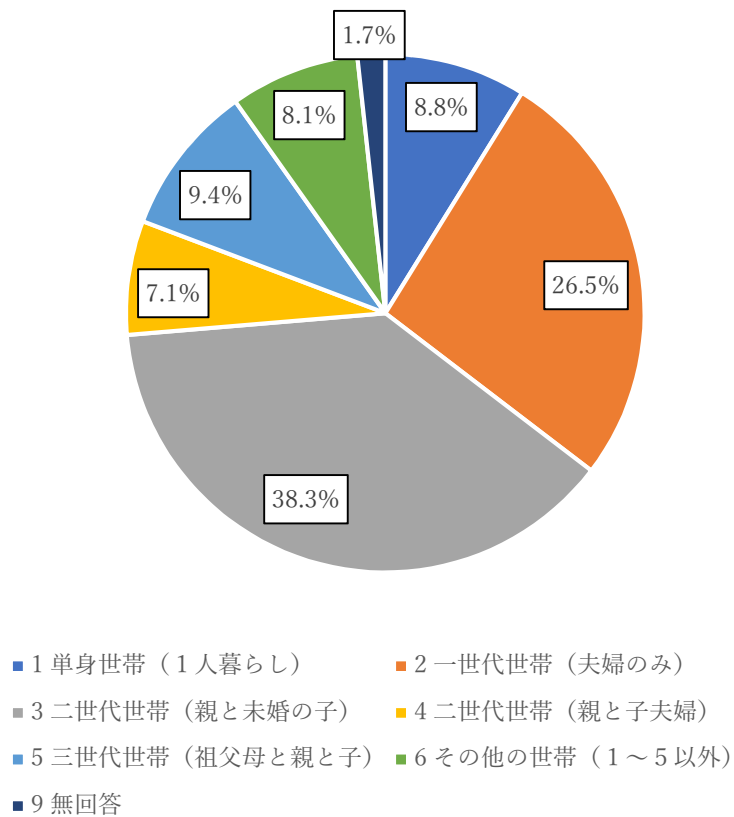
問3 あなたは結婚されていますか。(〇は1つだけ)

「結婚している」が70.4%、「未婚」が21.2%でした。



問4 あなたのご家族の家族構成はどれですか。(〇は1つだけ)

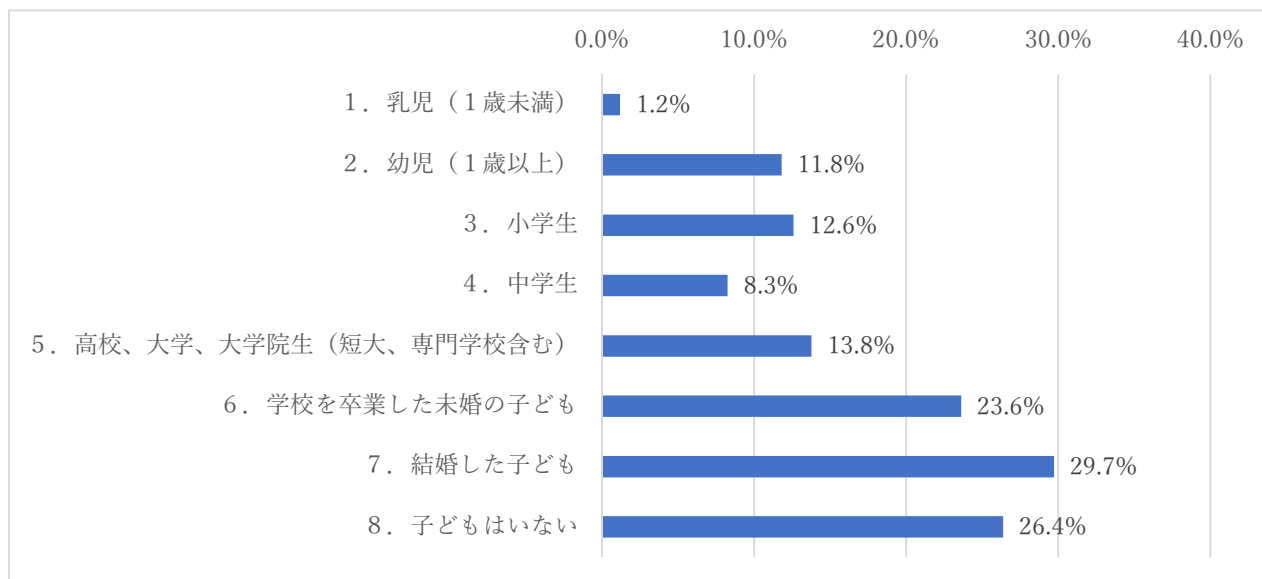
「二世世代世帯（親と未婚の子）」が38.3%、「一世世代世帯（夫婦のみ）」が26.5%でした。



問5 あなたのお子さんの状況を選んでください。※別居しているお子さんも含めます。

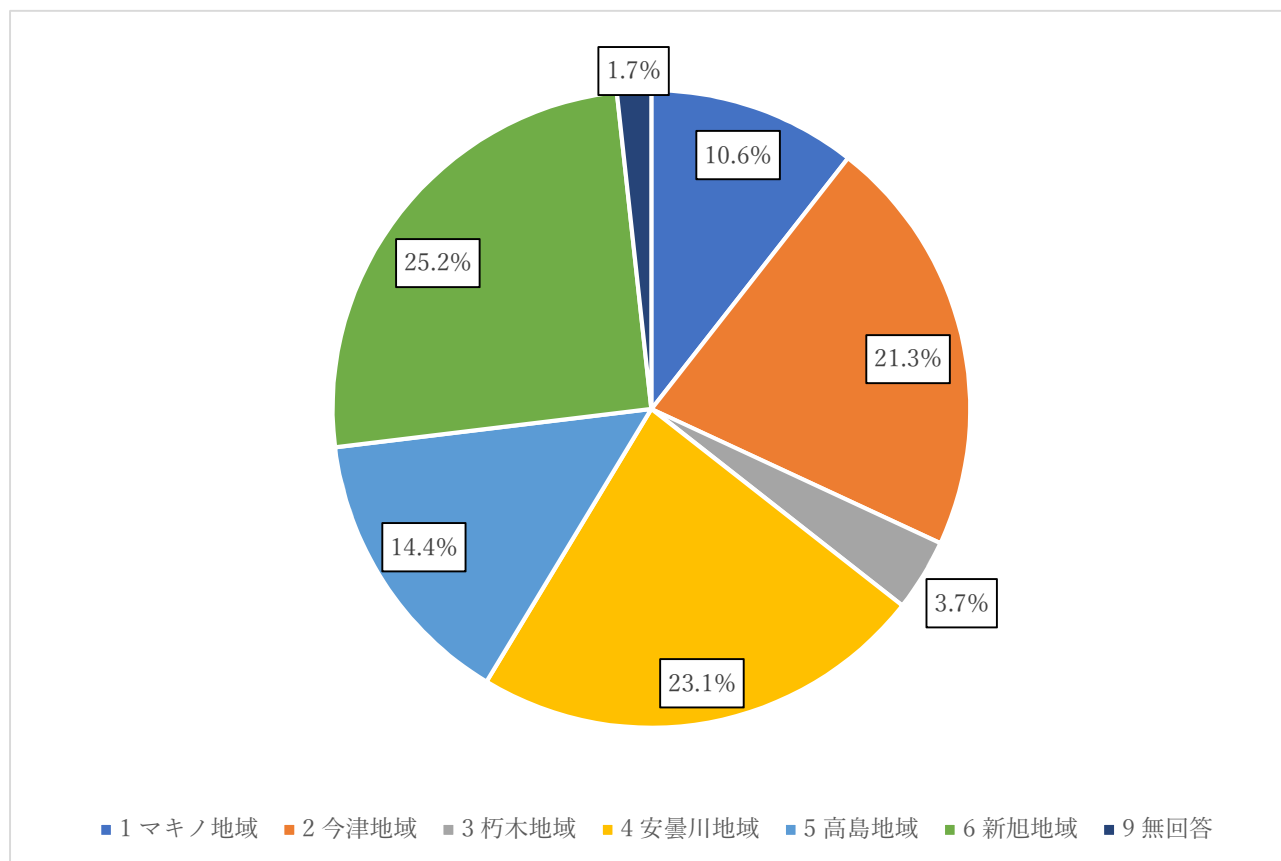
(あてはまるものすべてに○)

「結婚した子ども」が29.7%、「子どもはいない」が26.4%、「学校を卒業した未婚の子ども」が23.6%でした。



問6 あなたはどこにお住まいですか。（あてはまる旧町村名に○）

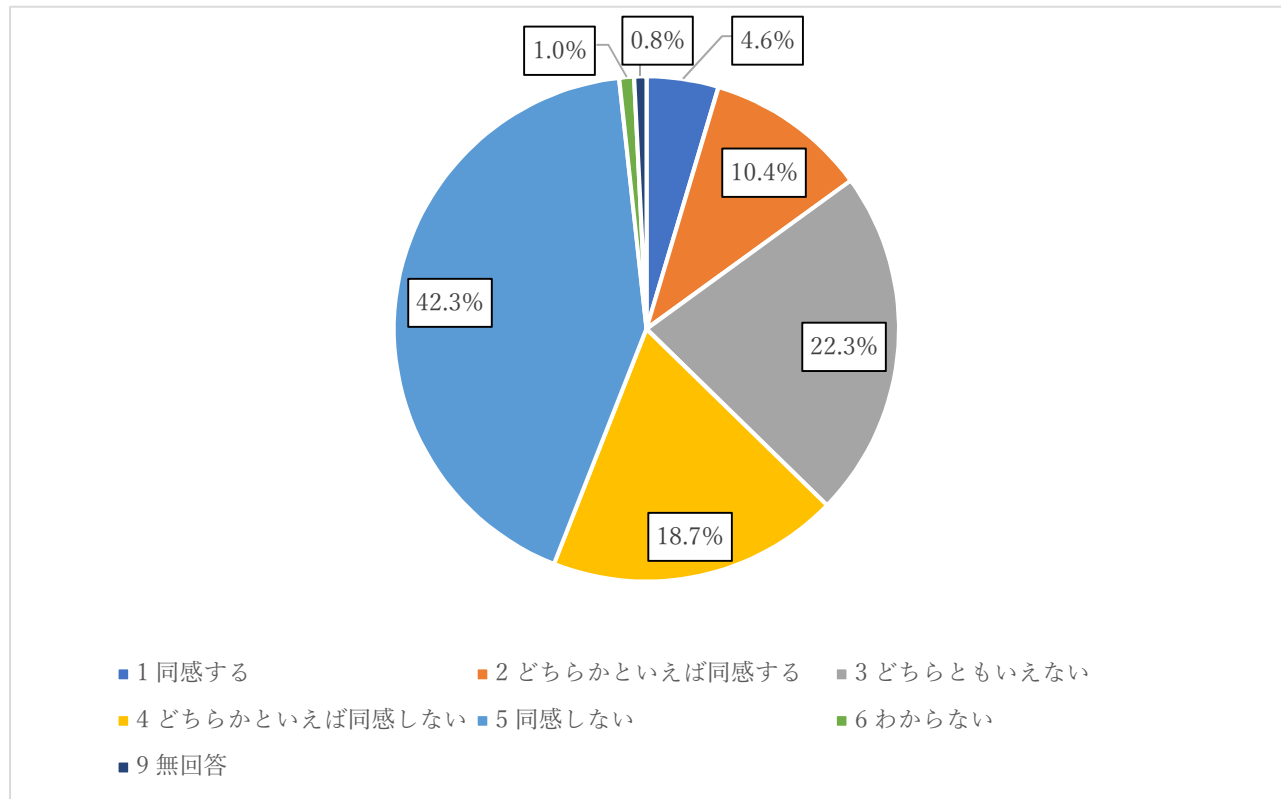
「新旭地域」が25.2%、「安曇川地域」が23.1%、「今津地域」が21.3%でした。



男女の平等についておたずねします。

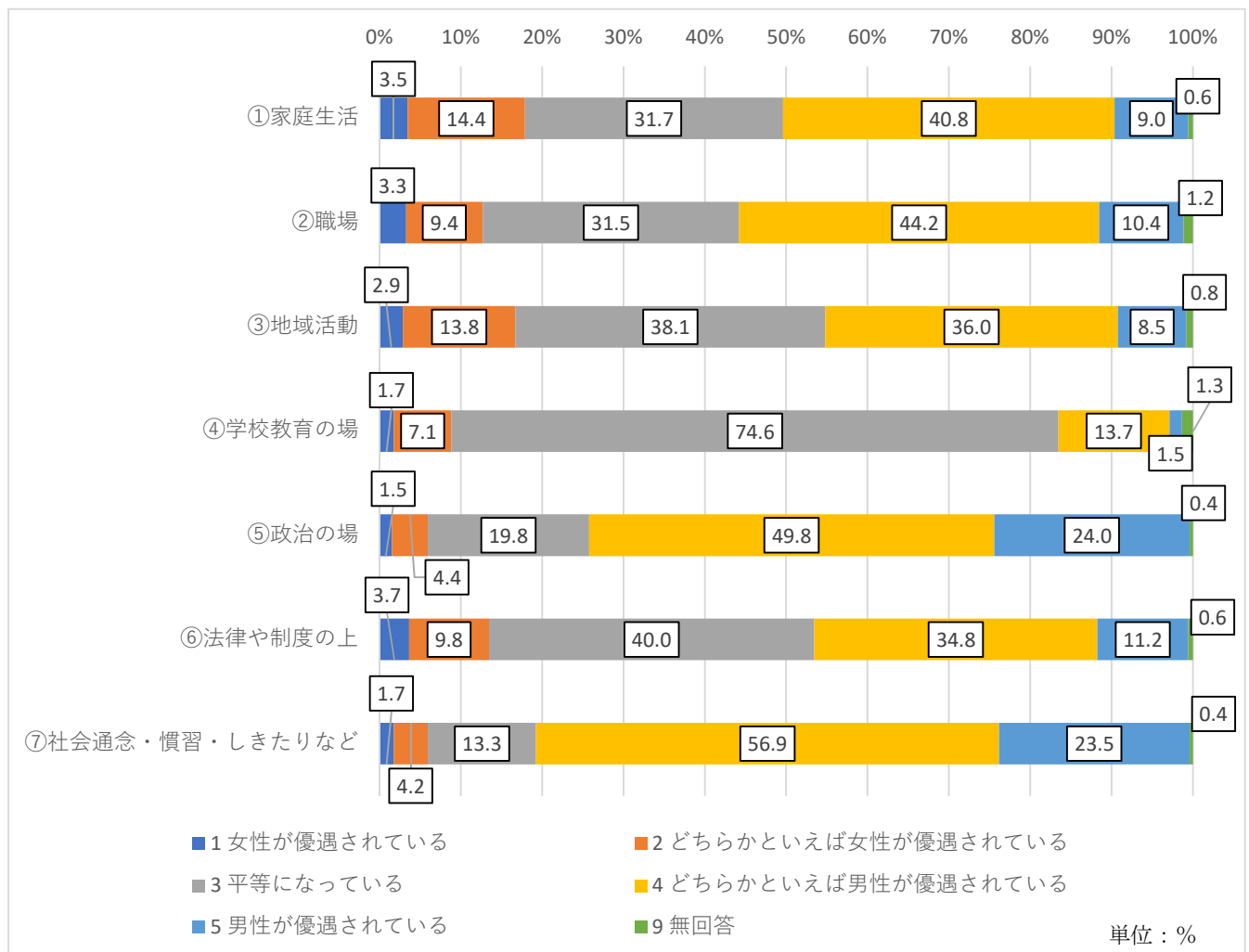
問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に最も近いものの番号を1つだけ選んでください。

「同意しない」が42.3%、「どちらともいえない」が22.3%、「どちらかといえば同意しない」が18.7%でした。



問8 あなたは次の①～⑦の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれに1つだけ選んでください。

「学校教育の場」では「平等になっている」が74.6%である一方、「社会通念・慣習・しきたりなど」「政治の場」では「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



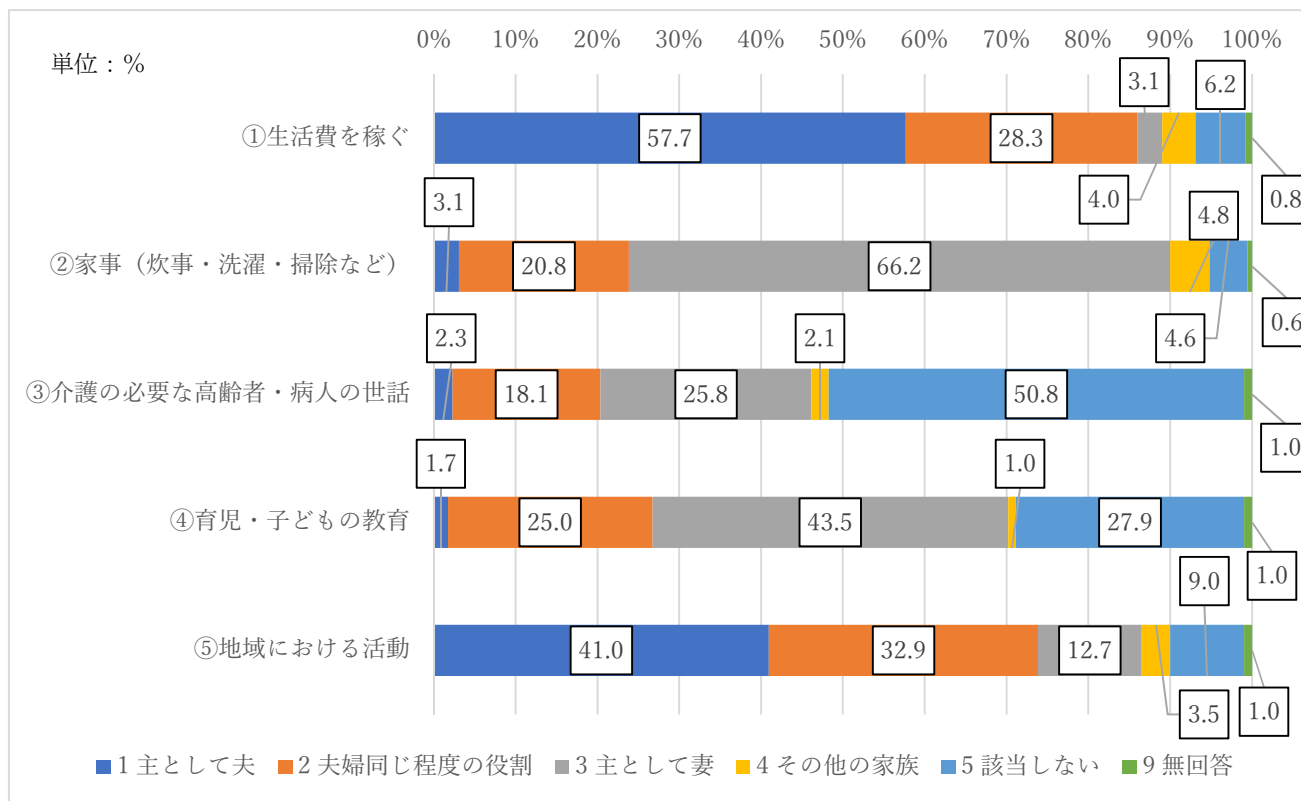
家庭生活についておたずねします。

問9 次の「ことば」について、あなたのご家庭では主にだれが行っていますか。

それぞれに1つだけ選んでください。

(配偶者のいない方は、次の日常的なことが誰の役割だと思われるかお答えください。)

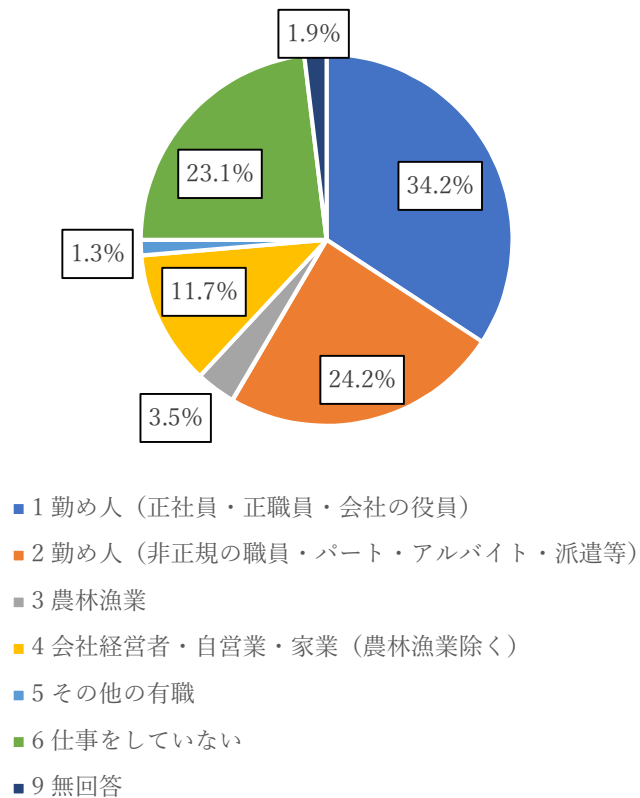
「家事（炊事・洗濯・掃除など）」「育児・子どもの教育」は女性の割合が高く、「生活費を稼ぐ」「地域における活動」は男性の割合が高くなっています。



労働についておたずねします。

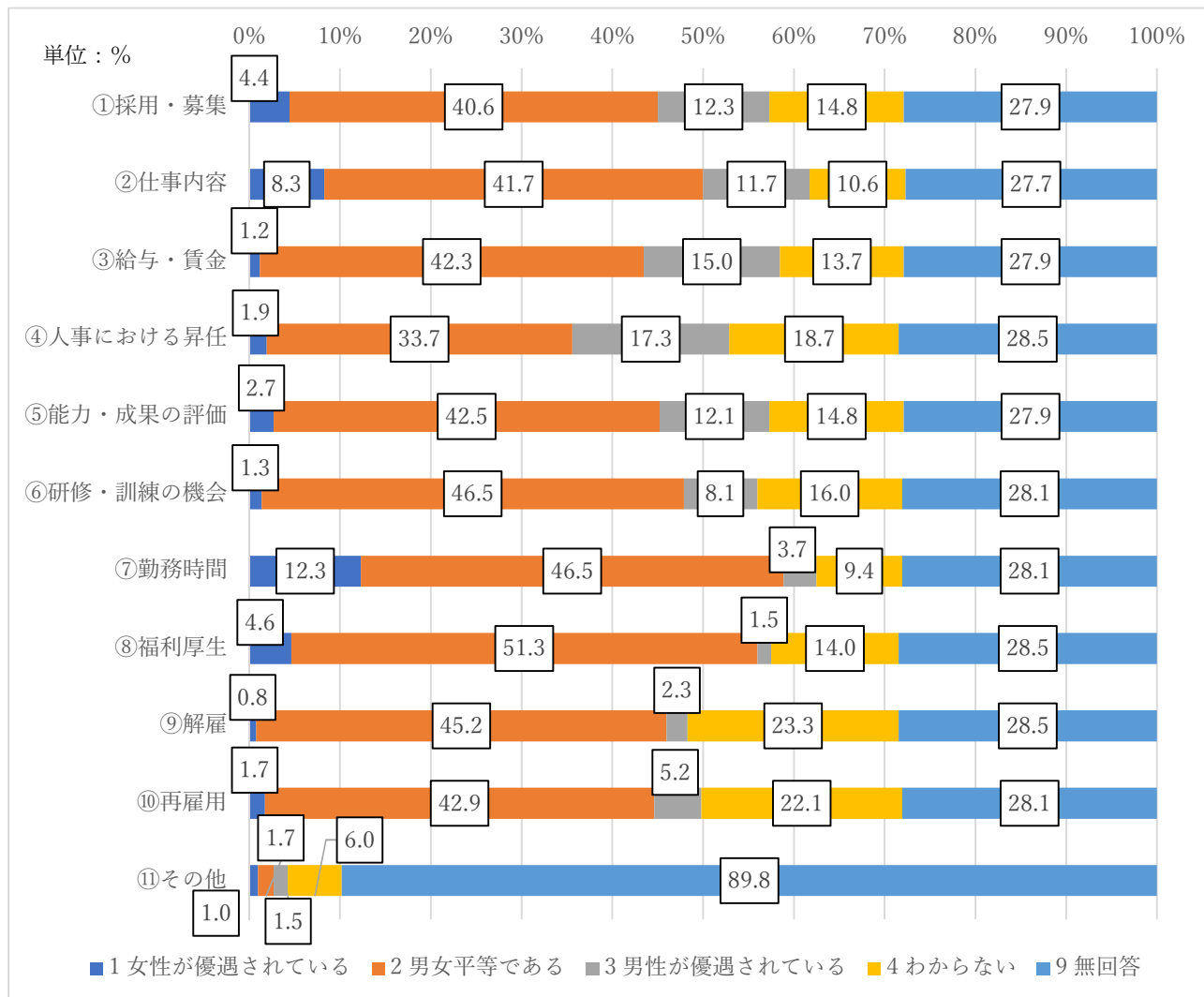
問 10 あなたの収入を得る仕事（産前産後休暇、育児休暇中も含む）の形態は次のどれですか。番号を1つだけ選んでください。仕事をされていない場合は仕事をしていないを選択してください。

「勤め人（正社員・正職員・会社の役員）」が 34.2%、「勤め人（非正規の職員・パート・アルバイト・派遣等）」が 24.2%、「仕事をしていない」が 23.1%となっています。



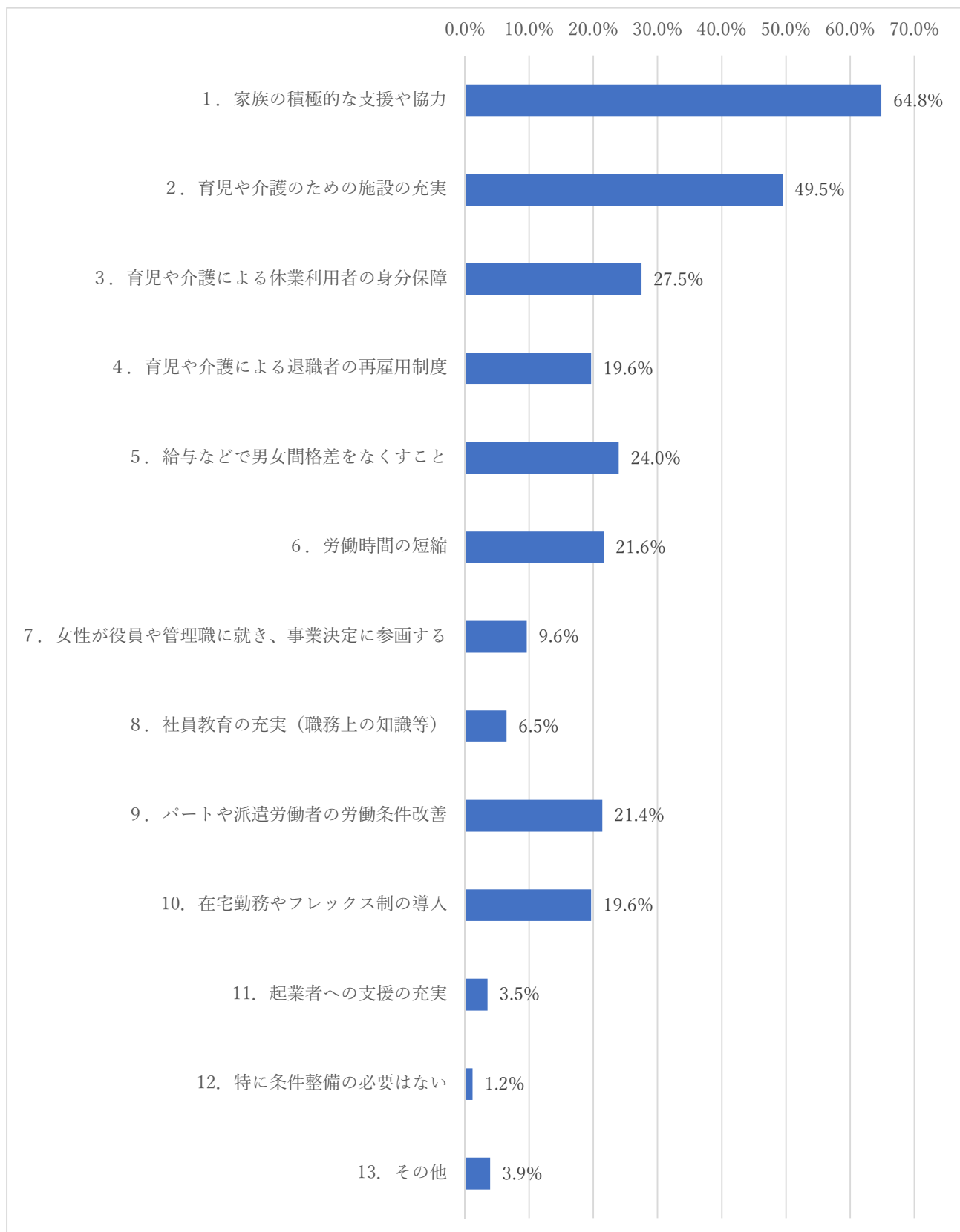
問 11 問 10 で仕事をしていない以外を選択された方に質問です。あなたの職場で男女の格差があると思いますか。それぞれに1つだけ選んでください。

すべての項目について「男女平等である」の割合が高い中で、「勤務時間」で「女性が優遇されている」が「男性が優遇されている」より割合が高く、「人事における昇任」「給与・賃金」で「男性が優遇されている」が「女性が優遇されている」より割合が高くなっています。



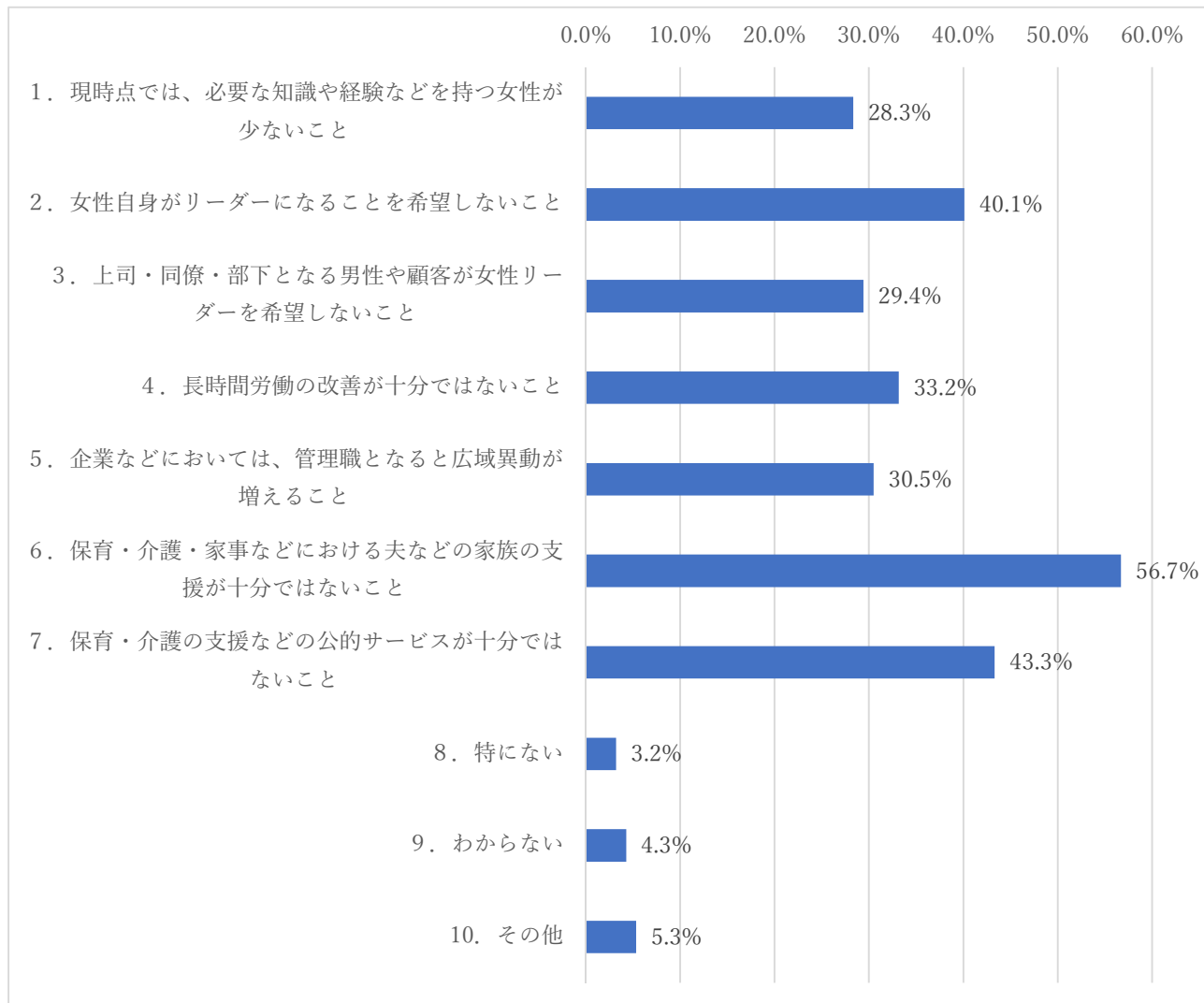
問 12 あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。3つまで選んでください。

「家族の積極的な支援や協力」が 64.8%、「育児や介護のための施設の充実」が 49.5%、「育児や介護による休業利用者の身分保障」が 27.5%の順となっています。



問 13 あなたは、経済・地域・政治などの各分野で、女性のリーダーを増やすことへの課題となるものは何だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

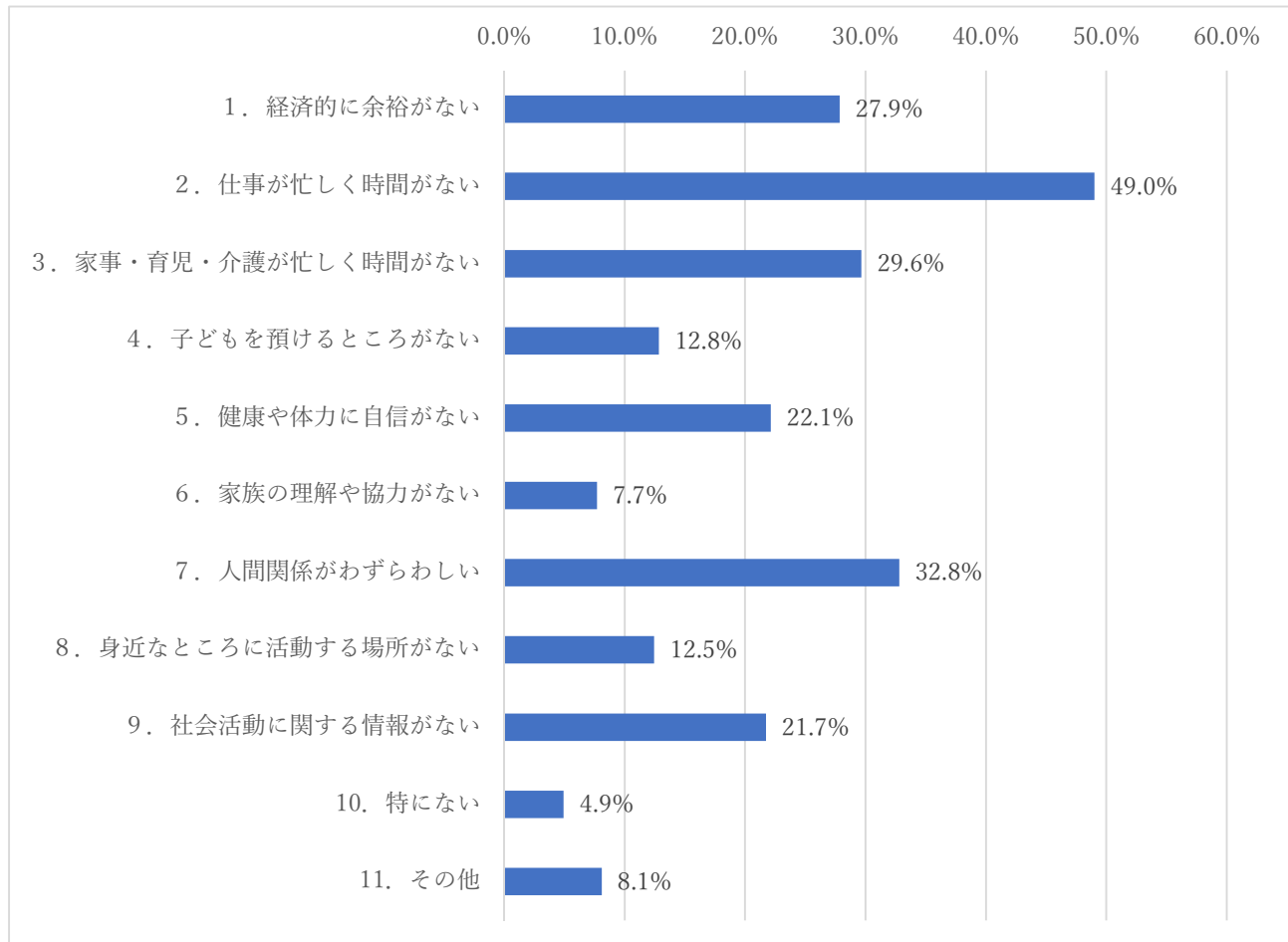
「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 56.7%、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 43.3%、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が 40.1%の順となっています。



地域社会についておたずねします。

問 14 あなたが、社会活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてを選んでください。

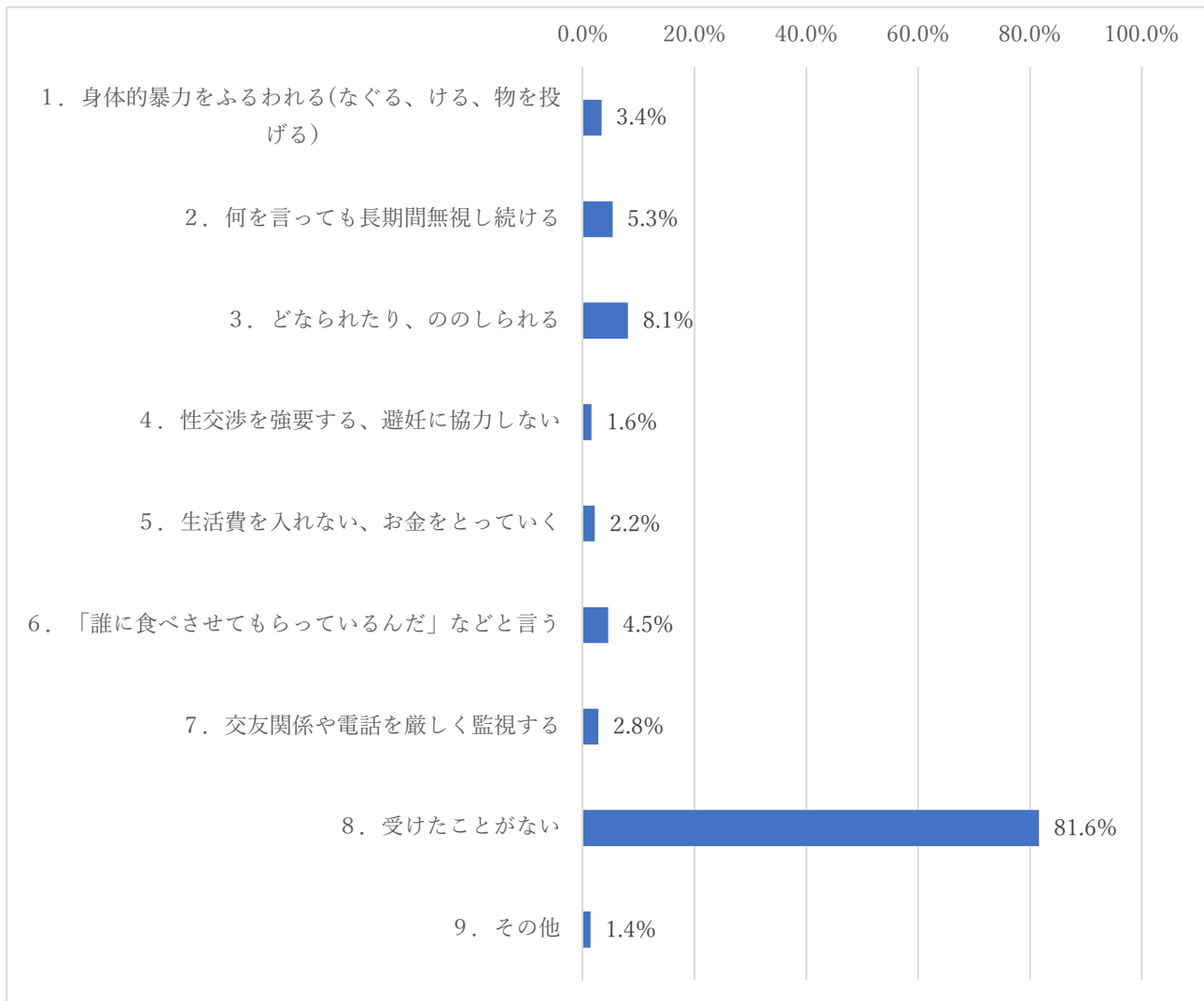
「仕事が忙しく時間がない」が 49.0%、「人間関係がわずらわしい」が 32.8%、「家事・育児・介護が忙しく時間がない」が 29.6%の順となっています。



暴力等についておたずねします。

問 15 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けたことがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

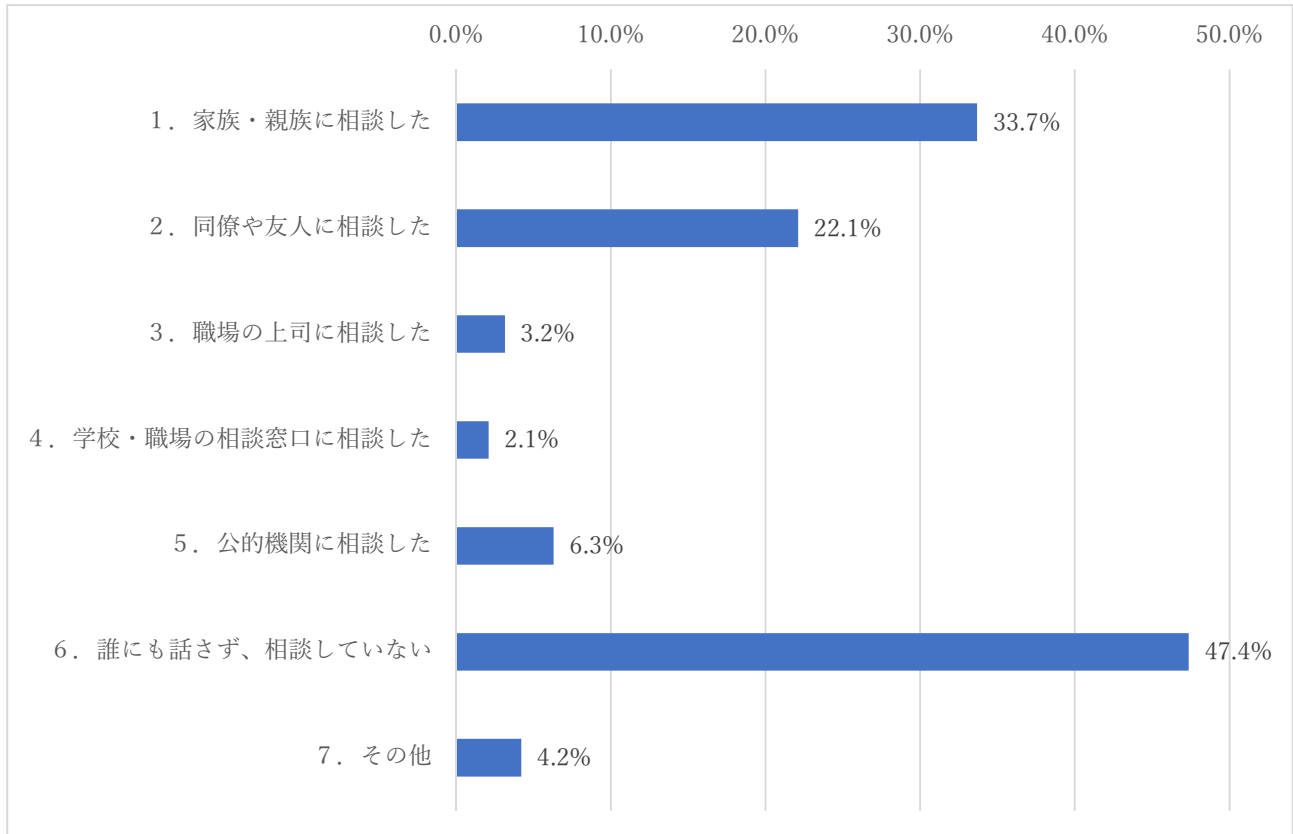
「受けたことがない」が81.6%、受けたことがある人の中では「どなられたり、ののしられる」が8.1%、「何を言っても長時間無視し続ける」が5.3%、「誰に食べさせてもらっているんだ」などと言う」が4.5%の順となっています。



問 16 問 15 で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします。

何らかの行為を受けたことについて、誰かに話したり、相談しましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

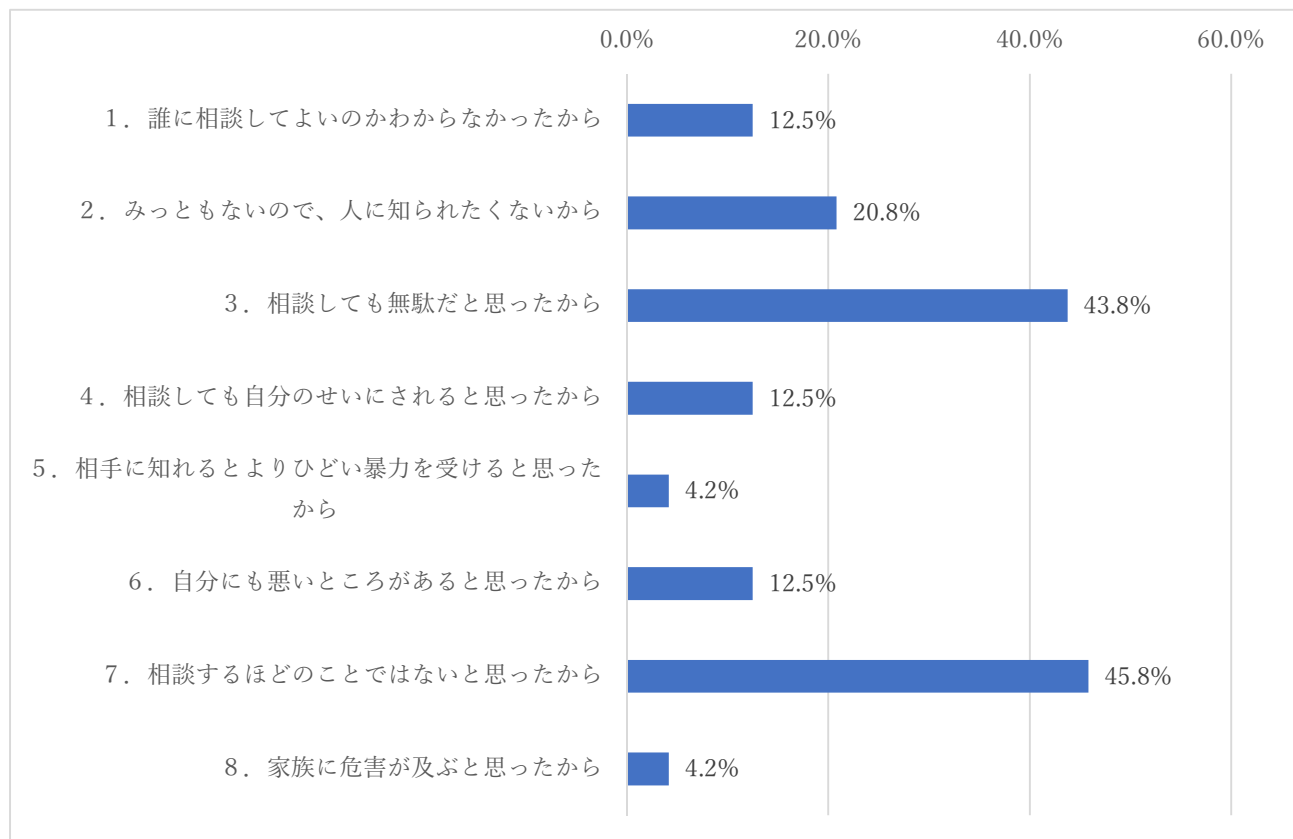
「誰にも話さず、相談していない」が 47.4%、「家族・親族に相談した」が 33.7%、「同僚や友人に相談した」が 22.1%の順となっています。



問 17 問 16 で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします。

相談しなかったのは、なぜですか。あてはまるものすべてを選んでください。

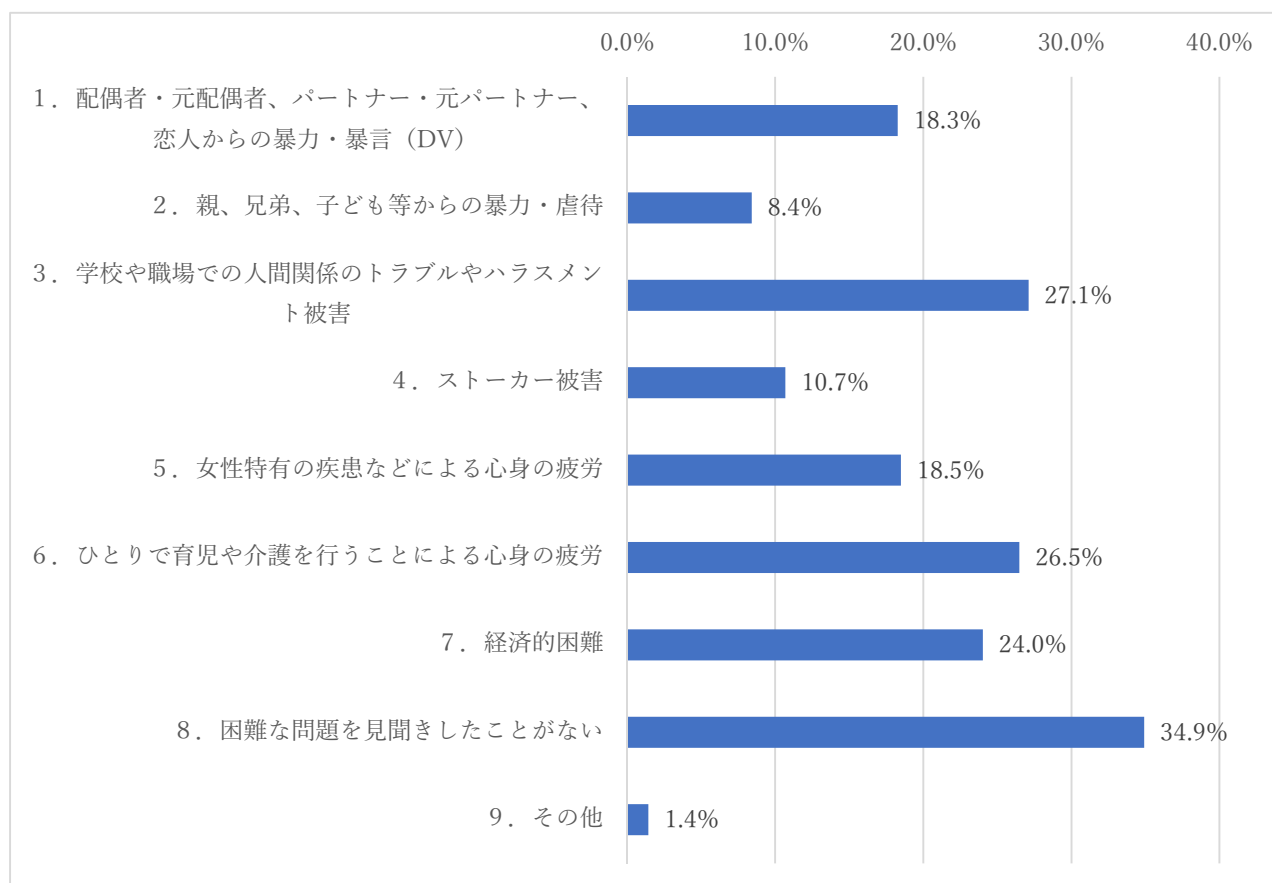
「相談するほどのことではないと思ったから」が 45.8%、「相談しても無駄だと思ったから」が 43.8%、「みっともないので、人に知られたくないから」が 20.8%の順となっています。



「困難な問題を抱える女性（＊１）への支援」についておたずねします。

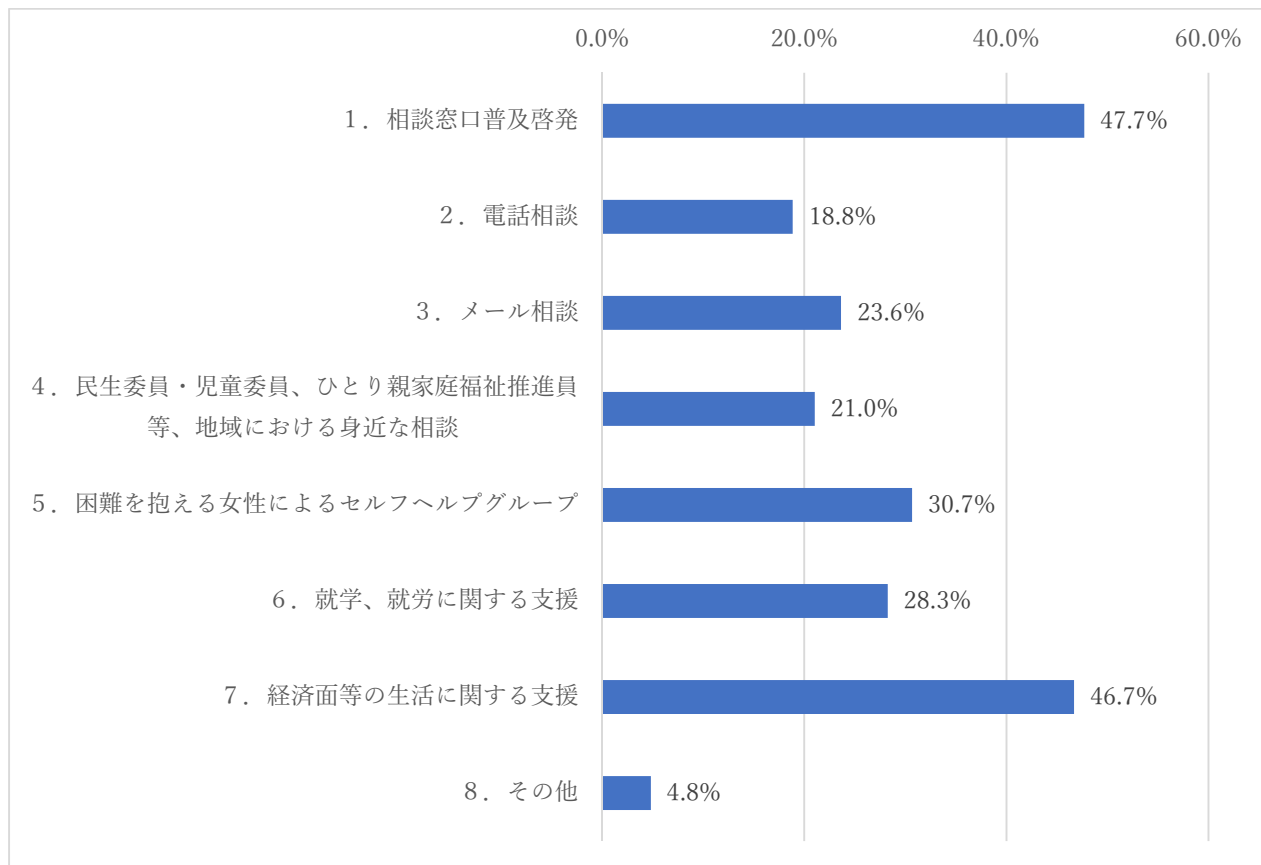
問18 あなた自身もしくは身近な女性で、女性であることを理由として、困難な問題を経験したり、見聞きしたことがありますか。あてはまるものすべてに○を選んでください。

「困難な問題を見聞きしたことがない」が34.9%、「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」が27.1%、「ひとりで育児や介護を行うことによる心身の疲労」が26.5%の順となっています。



問19 あなたは、困難な問題を抱える女性に対する支援策として、どのような支援が効果的であると思いますか。特に効果的だと思うもの3つまで選んでください。

「相談窓口普及啓発」が47.7%、「経済面等の生活に関する支援」が46.7%、「困難を抱える女性によるセルフヘルプグループ」が30.7%の順となっています。



性的指向およびジェンダーアイデンティティの多様性に関することについて おたずねします。

問20 LGBTについてどのようなイメージをもっていますか。1つだけ選んでください。

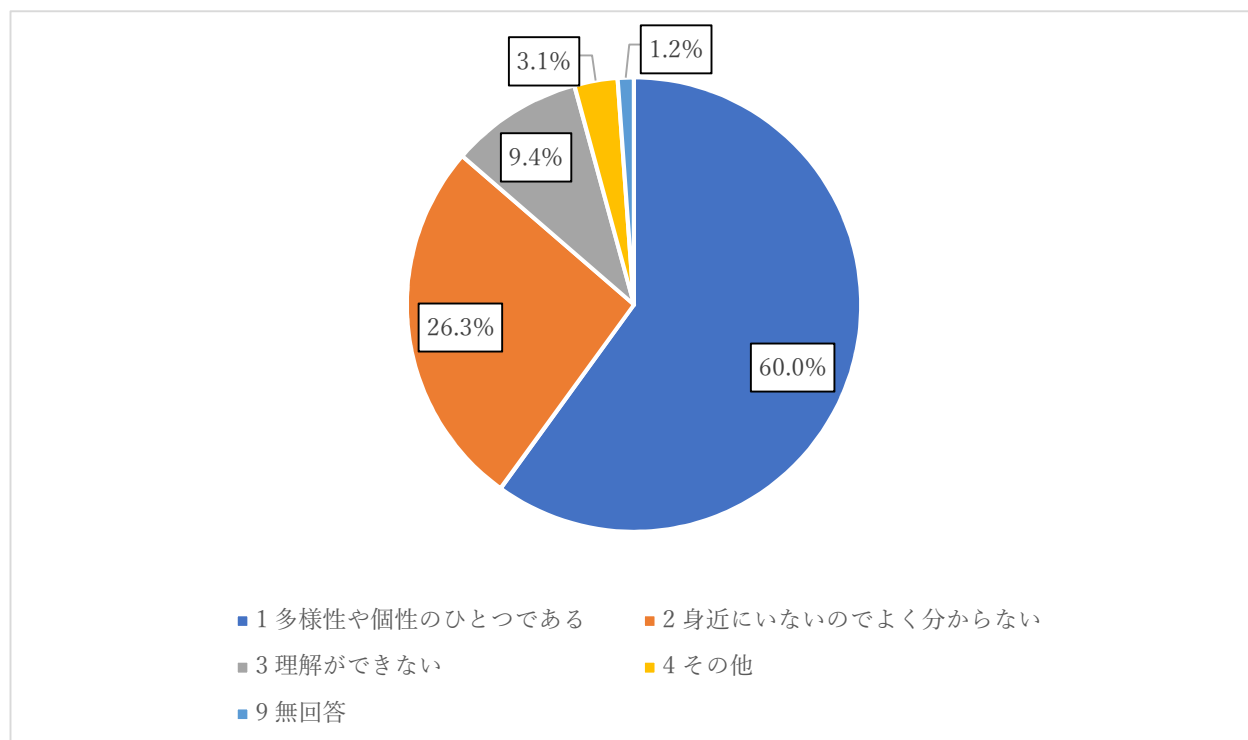
L：レズビアン（心の性が女性で恋愛対象も女性の人）

G：ゲイ（心の性が男性で恋愛対象も男性の人）

B：バイセクシュアル（異性と同性、どちらも恋愛対象となる人）

T：トランスジェンダー（こころの性と体の性が一致しないため、体の性に違和感をもつ人）

「多様性や個性のひとつである」が60.0%、「身近にいないのでよく分からない」が26.3%、「理解ができない」が9.4%でした。

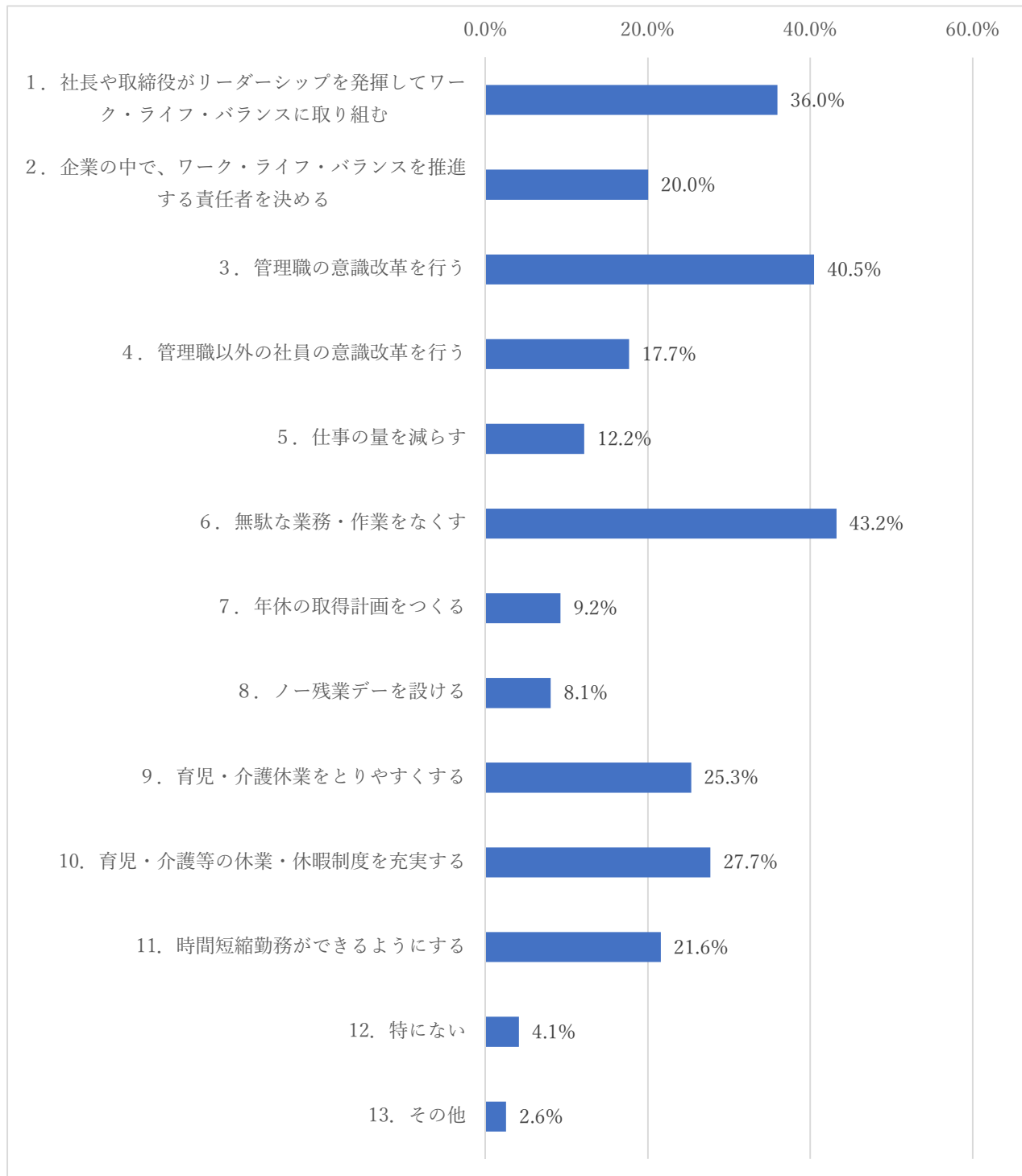


仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてたずねします。

問21 「仕事と生活の調和がとれる生活（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、①企業による取組と②行政による取組が考えられますが、あなたはそれぞれどのような取組が必要だと思われますか。

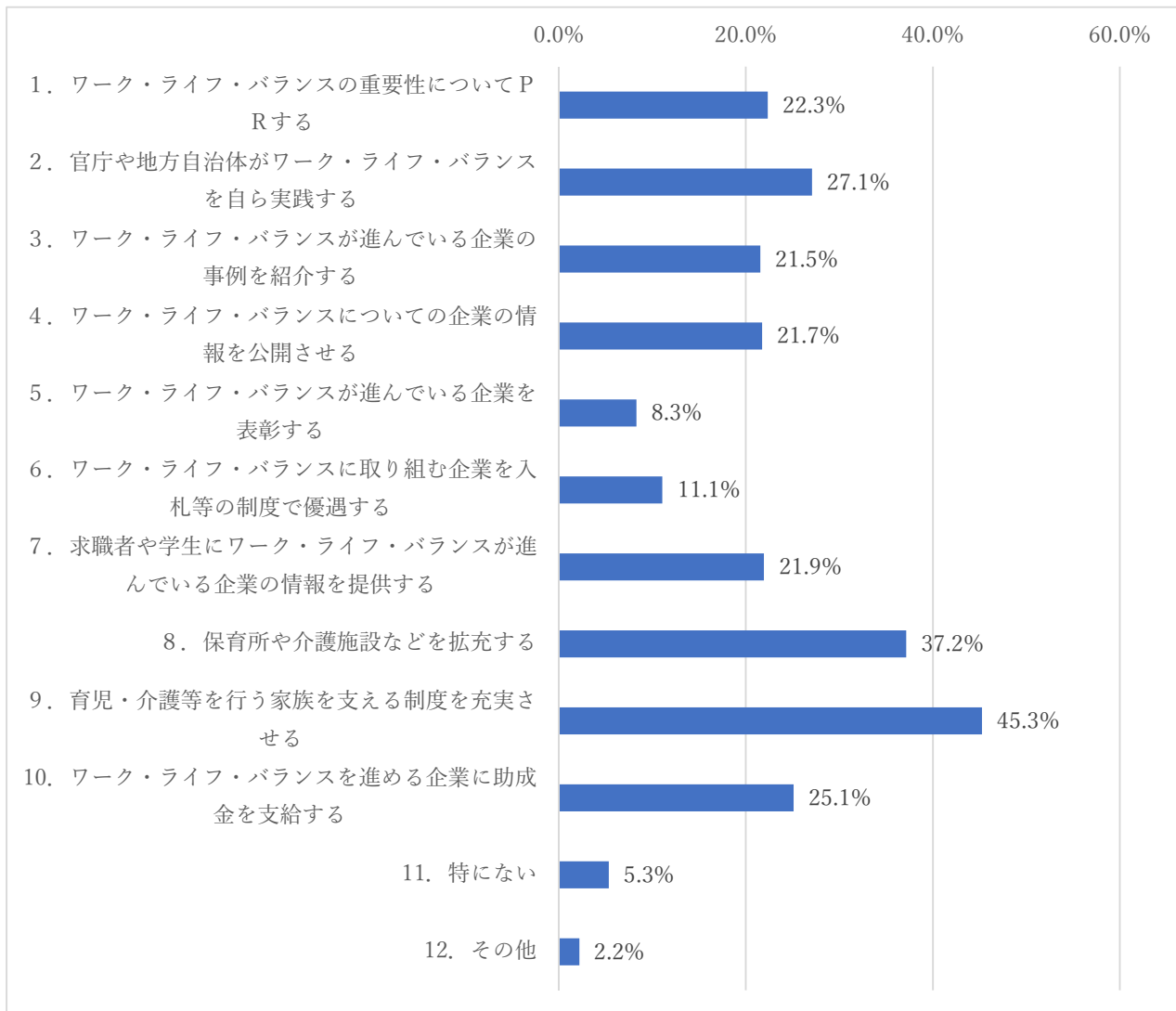
①企業による取組（3つまで選んでください）

「無駄な業務・作業をなくす」が43.2%、「管理職の意識改革を行う」が40.5%、「社長や取締役がリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組み」が36.0%の順となっています。



②行政による取組（3つまで選んでください）

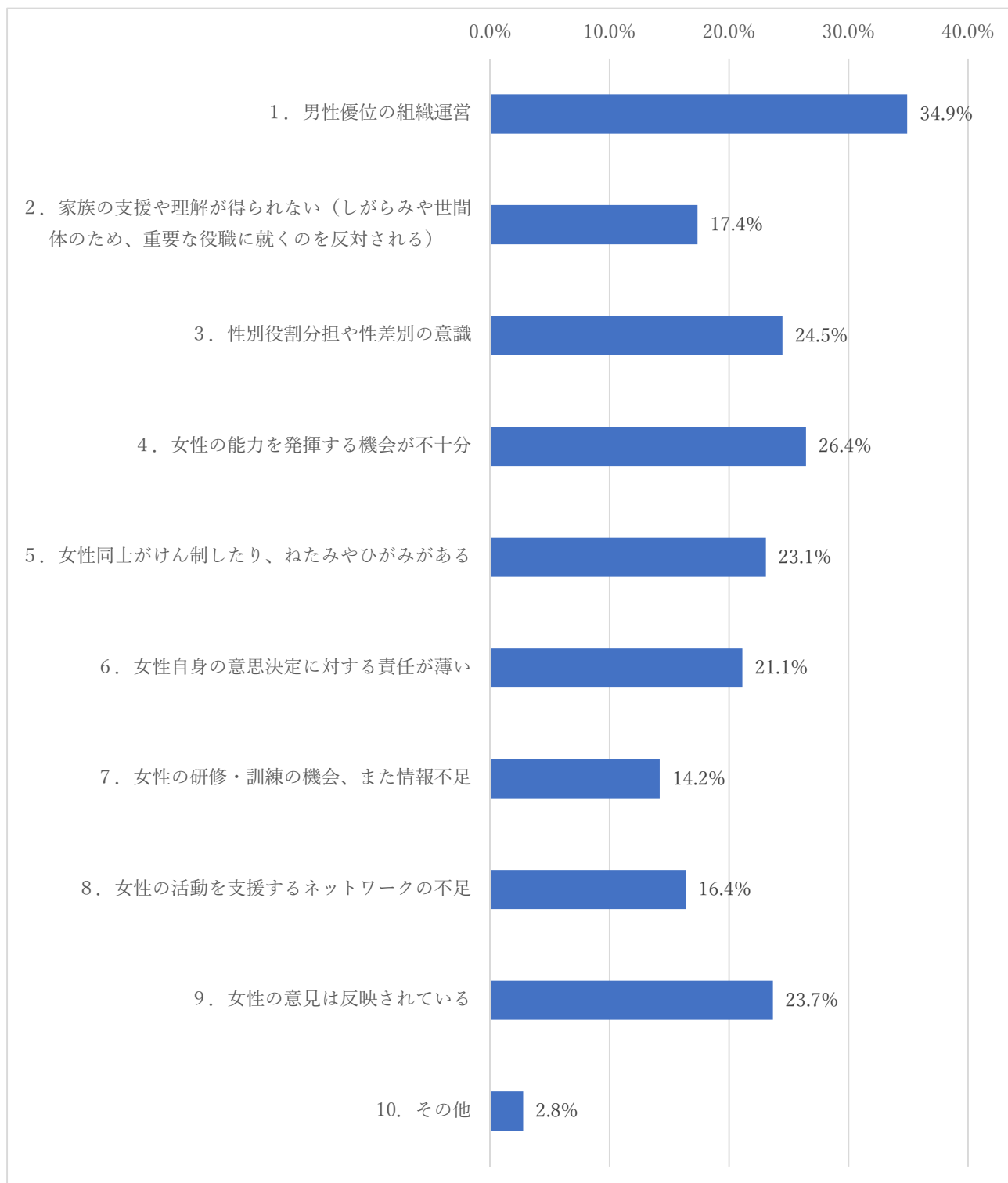
「育児・介護等を行う家族を支える制度を充実させる」が45.3%、「保育所や介護施設などを拡充する」が37.2%、「官庁や地方自治体がワーク・ライフ・バランスを自ら実践する」が27.1%の順となっています。



政策・方針決定の場への参画についておたずねします。

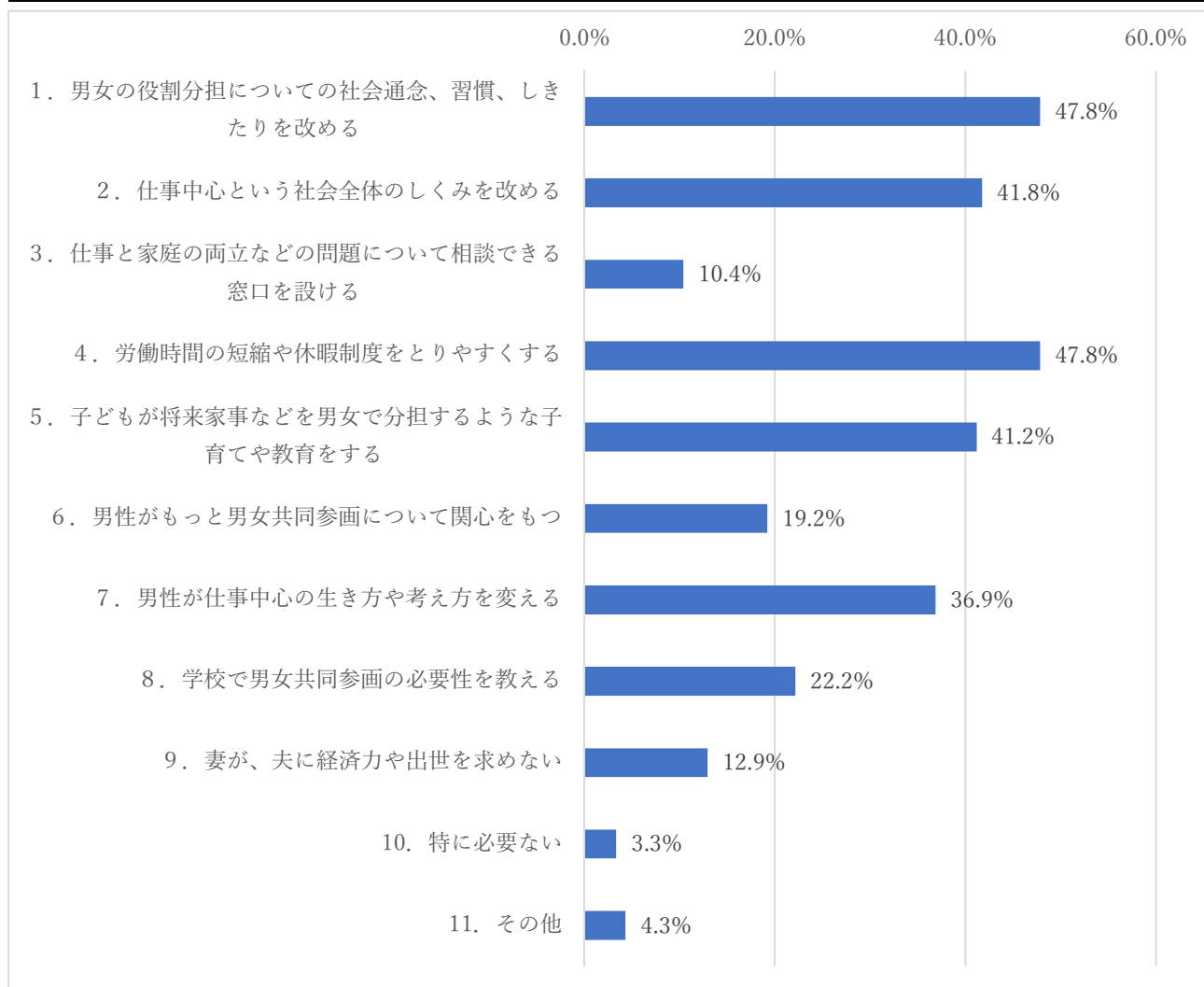
問 22 政策などの立案や方針決定において女性の意見が反映されていると思いますか。反映されていると思われる場合は女性の意見は反映されているに選択してください。反映されていると思わない場合はあてはまるものすべてを選んでください。

「男性優位の組織運営」が 34.9%、「女性の能力を発揮する機会が不十分」が 26.4%、「性別役割分担や性差別の意識」が 24.5%の順となっています。



問 23 あなたは、今後男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改める」と「労働時間の短縮や休暇制度をとりやすくする」が47.8%、「仕事中心という社会全体のしくみを改める」が41.8%の順となっています。



高島市の取り組み等についておたずねします。

問 24 あなたは今後、男女がともに家庭生活や職業生活を営み、地域活動に積極的に参画していくために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてを選んでください。

「保育所や夜間保育などの保育サービスや学童保育を充実する」が 47.3%、「高齢者や病人の介護サービスを充実する」が 40.1%、「学校教育で男女平等や相互理解のための学習を推進する」が 39.3%の順となっています。

